



交野を支える 裏舞台

暮らしを支えているまちのインフラ等の、普段見ることができない現場の裏側を紹介します。



今月の裏側

交野市立図書館

市内に4か所ある図書館(室)。本を借りたり読んだりするだけでなく、より多くの方に利用しやすいよう、様々な工夫がされています。



読みたい1冊を探し出す

図書館の開館前は、予約の本を探す時間。1日平均約300冊の予約があります。約24万冊の中から1冊を見つけると、受け取りを希望する図書館(室)に運ばれ、皆さんのもとに届けられます。

破れた本も直してきれいに



破れたり、ページが取れたりした本は、状態に合わせて1つずつ手作業で糊付けや手縫いをし、貸し出せる状態にしています。修理が必要な本の中には廃刊のものもあり、より長く利用できるよう工夫しています。

本を載せた移動図書館車



本を載せた移動図書館車「ブンブン号」が、市内13か所のステーションを巡回しています。車両後部にはリフトがあるので、車いすやベビーカーでも車内の本をゆっくり選ぶことができます。

